

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業所 アトリエモモ			公表日	R8年 3月 22日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・子どもの荷物置き場所設置。 ・活動によってカーテンで仕切るなどしている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・全体で情報を共有し、緊急的に人員不足の時は他部署からでも対応できるようにしている。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	4	2	・荷物置き場の設置 ・段差が多く、車椅子の場合通りにくいところがある。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、	5	1	・タイムアウトのスペースがある。 ・掃除など清潔を保つことは不十分。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められ	5	1	・個室はないがスペースを確保している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、	4	2	・今後、スケジュールや業務について整理する予定。 ・今年度全体での話し合いをするよう取り組んでいるところ。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて	6		・その都度話し合いを実施。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につ	6		・年に数回全体ミーティングを実施。職員の意識を共有し合っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	・わからない。 ・第三者評価は不十分。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研	6		・毎年研修あり。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の	6				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任	6				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が	6				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル	5	1	・標準化されたツールの導入に向けて準備中。 ・今年度からバイナリド、感覚プロファイル評価実施。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	6				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・プログラム内容が幅広い。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課	6				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内	6				
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の	6		・振り返りが充実している。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ	6		・記録に時間がかかる。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組	5	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	5	1		
関係機 関や保 護者 との連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	4	2	・該当ケースなし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	3	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・参加機会なし。メンバーに入れてもらうよ う働きかけが必要。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こ どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・子どもの意思確認が不十分なことあり。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、	6		・保護者会の開催。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	6			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ	6		・月に1度の通信発行	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	5	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	5	1		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	5	1	・わからない。 ・今年度未実施のものあり。今後実施予定。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、	4	2	・わからない。 ・今年度未実施なものあり。今後実施予定。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して	5	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が	4	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について様	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決	6			